

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- 活力と魅力にあふれた、地域と共に子どもを育む学校を創ります。
- ・善悪の判断、社会のルールを守るなどの規範意識、礼儀を大切にする態度を育てていきます。
 - ・望ましい生活習慣を身に付け、進んで健康・体力づくりに取り組む姿勢を育てていきます。
 - ・「分かる授業」「楽しい授業」「集中できる授業」を展開し、問題解決の学習を重視しながら、思考力、判断力、表現力を高めていきます。
 - ・集団の一員としての居場所を確立し、他の人のために何かをしようとする姿勢を育てていきます。
 - ・様々な人とかかわる機会を増やし、視野を広げられるようにしていきます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	ひびき合い（学び合う・認め合う・生かし合う）を意識した教育活動を展開し、相手を大切にし、自分も大切にする心を育て、自己肯定感を高める。	① ペア活動を中心に、学級集団の枠を越えた子ども同士のつながりを構築できるようにする。 ②学習や行事等、様々な機会をとらえて、保護者や地域の「人」とふれあいを感じられるような活動を展開する。 ③友達や保護者、地域の方々に自ら挨拶するよさに気付くことができるよう、月別目標を活用したり、委員会活動において取り組んだりする。
担当	児童指導委員会、 人権教育委員会、道徳研究部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

学援隊や教育ボランティアなど保護者は協力的であり、地域には中学校が隣接していたり近くに特別養護老人ホームがあったりして交流を行いやすい。児童は素直であり、行事などみんな協力してがんばることができるが、「自分にはよいところがある」と考えている児童は少なく、自尊感情の育ちが十分ではない子どもも多く見られる。道徳的価値を理解しているが、行動に表すことが難しいことも多い。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

「道徳の時間」の充実

- ・全学級において道徳教育の充実を図り、学年間で情報交換などを行う。
- ・教科書や私たちの道徳、今までの教材などを活用したり、道徳教材を作成したりしながら、校舎・校庭・教室環境を整え、物的な学習環境を充実させる。
- ・研修会や研究会の資料などを全職員で共有し、道徳の時間の指導力向上を図る。
- ・学校・学年だよりや授業参観・懇談会、特別養護老人ホームとの交流を通して相互理解と信頼の上に協力し、連携して児童の道徳性の育成を図る。

体験活動の充実

- ☆「クラブ活動」「児童会活動」「ペア活動」等をより充実させ、よりよい生活や人間関係を築こうという態度を育てると共に、自己有用感を味わうことができるようにする。
- ・小中学校での学びを見通した活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然や文化に触れる「集団宿泊体験活動」を充実させる。

豊かな感性や情操の教育

- ・合唱クラブを開設したり音楽会を開催したりして、児童の文化的活動を通して豊かな感性の育成を図る。
- ・ペア読書や読書タイムを設定したり、「はまっ子読書ノート」を日常的に活用したりして、豊かな読書体験を通して知性や感性の育成を図る。